

月刊



湖国が滋る・水と緑の街づくり

平成29年4月1日発行 通巻255号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・総務企画委員会 2
平成29年度 通常総会開催のご案内
- ・まちづくり委員会
第8回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展&「第10回建築士フェスティバル」事業報告
2016年 第7回 高校生の「建築甲子園」
「地域の暮らしー空き家を活かすー」結果報告
- ・計報
- ・地区だより 3
高島地区
甲賀地区
彦根地区
- ・青年委員会 4
対外交渉事業「木造耐力壁実験会in 滋賀～破壊から知る軸組と枠組～」事業報告
「研修旅行 in 南とうほく」事業報告
- ・青年委員会&近畿建築士会協議会青年部... 5
「近畿青年建築士フォーラム2017」事業報告
- ・滋賀職能大 6
(ポリテクカレッジ)からのお知らせ
- ・新入会員のご紹介
- ・4月の暦
- ・滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて
第10回 福井弥平商店(高島市勝野)



福井弥平商店 木造蔵

福井弥平商店は、旧大溝町と言われる江戸時代の旧大溝藩 大溝城の城下町にある、寛延年間(1748～51)創業の酒蔵である。平成27年にこのエリアが国の「重要文化的景観」として選定されたことを契機として、古代からの歴史事実なども再注目され、城下町と琵琶湖水運の重要な拠点として栄えた周辺の素晴らしい街並みは現在脚光をあびている。酒蔵の敷地内は全て100年以上の築と思われる蔵や建物が増築により幾重にも連なっており、長きにわたる丁寧なメンテナンスにより素晴らしい景観と趣き、歴史を感じることができる。

写真は大通りの裏手、琵琶湖側から見た仕込蔵3棟である。向かって左側の蔵が最も古く100年以上前の築と伝わる。仕込量の増加に従い左から順に増築していったという。手前にある水路にある石垣も3蔵とも石の形状や積み方が異なることから見て取れる。内部は棟ごとに壁で仕切られ、全て仕込タンクが並ぶが棟ごとにその大きさが異なる。大きなタンクではレギュラーの普通酒を、小さなタンクでは高級な吟醸酒を仕込む。蔵ごとに現在もその役割が異なっている。

福井弥平商店の醸す荻乃露の信条は「酔うための酒ではなく、味わうための酒を」。目指す味わいは、近江の良質な米、比良山系の伏流水(甘みのある柔らかな水)を使用し、飲むほどに良さがわかる、まろやかで旨みがあり、しかも後味のすっきりした酒。柔らかな優しい味わいは、美しい里山のある高島の情景が目の前に浮かぶようである。(前谷吉伸)

平成29年度 通常総会開催のご案内

日 時：平成29年5月27日(土) 総 会 14:30～16:50 (予定)

懇親会 17:00～19:00 (予定)

場 所：びわ湖大津プリンスホテル 大津市におの浜4-7-7 TEL:077-521-1111

※詳細は5月号にてお知らせ致します。

第8回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展& 「第10回建築士フェスティバル」事業報告

平成29年2月25日(土)～26日(日)、ビバシティ彦根

ビバシティホールにて、彦根で3回目の開催となる子ども立体作品展は建築士フェスティバルと同時開催とし、二日間で1,000人を超える来場者を数えました。作品数は106点、参加児童数は109名でホール一杯に展示することができ、賑やかに表彰式まで無事に終了して、本会及び建築士をPRできました。

ご協力いただきました各園ご関係者の皆様、行政・消防関係の方々、そして本会会員の皆様方にお礼申し上げます。ありがとうございました。



滋賀県建築士会会長賞受賞作品



子どもたちの作品



県内高校生の作品展



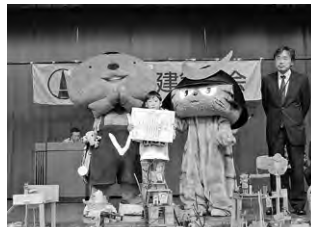
フォトコンテスト



大人気のゆるキャラたち



表彰式



滋賀県知事賞受賞の奥村さん



大賞受賞のこどもたち

2016年 第7回 高校生の「建築甲子園」 “地域の暮らしー空き家を活かすー” 結果報告

今年度の「建築甲子園」は県内工業系高校からの応募が無く、大変残念な結果となりました。今年度から県内工業系高校で建築を専攻する高校は2校のみとなり、建築を志す生徒が減少している影響があります。そのような状況下であっても、どのような動機付けを行うことによって応募意欲が高まるものかについて前向きに検討していくこととし、ご報告と致します。

計 報

(公社)滋賀県建築士会 元副会長 山本 藤雄様(享年93歳)が平成29年2月22日(水)にご逝去されました。

山本藤雄様は(一社)滋賀県建築士事務所協会の設立にご尽力され、副会長、会長を歴任されました。

また、(一財)滋賀県建築住宅センター設立にかかわられ、初代理事長としてご活躍されました。

謹んでお悔やみ申し上げますとともにご冥福をお祈りいたします。

高島地区

平成29年 高島地域会新年互礼会を開催

1月20日、ウエストレイク可以登楼にて、山本会長を来賓に向かえ平成29年高島地域会新年互礼会を盛大に開催しました。

今年は会員をはじめ、新入会員の若い方や、賛助会員様の多数の参加を頂き、過去最高となる総勢45名となり、大変にぎやかな新年会となりました。新入会員の自己紹介に始まり、賛助会員様にはPRタイムを設け、各社独自の宣伝を行っていただきました。

また抽選会で景品が当たるなど、会員相互の親睦が深めら

れ有意義な日となりました。

そして、今年1年も高島地域会一丸となって、建築士会を盛り上げて会員増強に努め、各自・各社も良き年になるように誓い合いました。



甲賀地区

研修見学会&家族親睦事業

甲賀地区では2月19日(土)に会員、賛助会員対象の研修見学会、3月18日(土)には会員、賛助会員とその家族を対象とした家族親睦事業(ボウリング大会)を開催しました。

研修見学旅行は東大阪市の司馬遼太郎記念館見学と住吉大社、アベノハルカスを巡り、家族親睦と研修を行って来ました。2月12日が司馬遼太郎の命日「菜の花忌」にあたることから、資料館界隈の道筋には菜の花が咲き誇り、穏やかな春の陽気の中、楽しい研修見学会となりました。



研修見学事業(住吉大社にて)



ボウリング大会

彦根地区

沖縄見学研修旅行

はいさーい。彦根地域会は2月5日～7日に沖縄に研修見学旅行に行きました。

現地バスガイドは仲吉(なかよし)さん。彼女から教えてもらった買い物上手な一言をバス内で復唱「うんじょういっぺいちゅらかーぎ」しかへし練習したにも関わらず修学旅行の生徒が誤って「うんじょういっぺいちんぱんじー」と。取り返しのつかない事になったそう。

《1日目》首里城からの展望はタイガーバームを思わせる海とビル群でかつて忌まわしい舞台となった地であることが嘘み



首里城守礼門



首里城正殿



F15戦闘機

たいほど実に綺麗な景観でした。でも各所に「ハブ注意!」の看板が。国際通りで夕食して熟睡。

《2日目》美ら海水族館(かつての沖縄博覧会会場)では飼育員さんが海亀に海藻の代替に白菜の餌やりをしている珍しい光景に釘付。

野古や尖閣等西南問題で緊張感走る那覇基地では厳格な撮影制限ながら現役整備中のF15戦闘機のcockpitに搭乗させていただき、隊員さんに集合写真を撮影していただきました。すでに700回以上のスクランブル発進でこの機もいつ命令が出るやもしれぬとか。歩き疲れてやはり爆睡。

《3日目》おきなわワールドのフルーツ園には見聞したことないフルーツが一杯。ここにもやはり各所に「ハブ注意!」の看板。玉泉洞の鍾乳洞は河内風穴よりちょっと大きくて有名なあ。

感想:誌面に書ききれない楽しい思い出がいっぱい! 沖縄っていい所なあ。ハブさえいなければ!

対外交流事業「木造耐力壁実験会in滋賀 ～破壊から知る軸組と枠組～」事業報告

2月25日(土)に、滋賀職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ滋賀）の実験施設をお借りし、対外交流事業「木造耐力壁実験会in滋賀 ～破壊から知る軸組と枠組～」を開催しました。講師には、構造はもとより各地域の大工の現状や、木造建築物の課題に詳しい山辺構造設計事務所の山辺豊彦先生をお招きし、熊本での震災被害の特徴と課題・木造建築物の耐震性能について講演いただきました。

協賛頂いた日本ノボパン工業株式会社・大建工業株式会社・岡部株式会社・株式会社シガウツの各社からは材料の提供とその特性等についてご説明いただきました。続いての耐力壁の実験では、在来軸組工法筋かい（プレスターZ600（木造筋かい用接合金物）：岡部（株））、2×4工法面材耐力壁（ノボパンSTPII 及び ダイライト）など、計3体の試験を行いました。各社並びに参加者は興味を持って実験状況を見守り、普段はなかなか見られない木造耐力壁の耐震性能を体験し、山辺先生にはそれぞれの実験体についての解説、講評をいただきました。

当日は、県外・会員外からの参加も多く、合計58名にご参加いただき大変意義のある事業となりました。また、京都鴨川建築塾や木考塾（木造在来工法住宅を考える会）など、木造建築において活躍されている方々のご参加も多く、同じ職能を持つもの同士、耐力壁実験を通じて意見交換等を行い、交流を持つことが出来まして、今後の発展を期待したいところです。

熊本県の震災被害に対する応急危険度判定員の派遣からも分かったように、今後いつどこで地震が起こってもおかしくない状況にある今、我々建築士は地震被害の現況と課題について学び、それを活かした建物を造っていく必要があると思います。ご参加・ご協力をいただきました皆様、本当にありがとうございました。



耐力壁実験風景



山辺先生講演



ノボパン破損状況

「研修旅行 in 南とうほく」事業報告

青年委員会は去る3月10日(金)～12日(日)に「研修旅行 in 南とうほく」と題して、宮城・福島県での研修を開催しました。年度末の忙しい時期でしたが、16名の方々に参加をして頂きました。

研修1日目は、伊丹空港より一路仙台空港へ。1時間半ほどで到着し、バス移動で、午前中は石巻市へ。石巻では、石巻魚市場周辺のスーパー堤防工事現場や、「がんばろう!石巻」の看板のある南浜つなぐ館等の見学を行いました。被災後に建て替えられた建築物については、外部避難階段や屋上避難スペースを設ける等、被災した教訓を生かした設計となっていました。午後から訪れた南三陸では現在の復興状況について、座学による研修の後に、新たな街づくりに向けたかさ上げ工事の進む現場や、多くの方が犠牲にあった防災庁舎等の見学を行いました。防災庁舎等の被災遺構については、保存して後世に残そうという方針で保存活動が行われていますが、一方では取り壊してほしいと考える被災者もあり、難しい問題であると感じました。震災発災後6年が経過しますが、工事が進んできたのはここ2～3年とのこと、訪れたどちらの場所も、現場には重機が並び、復興にはまだまだ時間がかかるとのことでした。

研修2日目は、仙台メディアテーク、福島県伊達市にある旧亀岡家住宅の見学を行いました。仙台メディアテークは、伊東豊雄氏設計の図書館・ギャラリー・イベントスペースで、鋼管トラス構造のチューブが特徴的な建築物です。見学時には大学の卒業設計展示も行われており、未来を担う建築士の無限の可能性も感じることができました。仙台メディアテークも被災しており、館内には被災時の写真の展示がありました。次に訪れた旧亀岡家住宅は、明治時代の擬洋風建築で、昨年7月に国指定の重要文化財に指定されたばかりの建物です。外観は洋風、内部は埋木を多く使った純和風で、細部までのこだわりがすごく見受けられました。また、見学中に地震発生時刻の3月



宮城県石巻市津波被災地現状



宮城県南三陸町防災庁舎現状

11日14時46分を迎え、参加者一同にて震災追悼の為、黙祷を行いました。また、宿泊先の福島市駅前広場にて追悼の意を込めたキャンドルナイトが行われており、当会からも献灯させていただきました。夕食は、(公社)福島県建築士会 青年委員会OBの大桃様にもご参加頂き、被災地の状況等意見交換を行い、有意義な懇親会となりました。

研修3日目は午前中、未だ汚染土が多く残る飯館村を通り、南相馬市の仮設住宅・復興公営住宅を見学しました。新しい住宅も建ち始めてはいるものの、まだまだ仮設住宅での生活を余儀なくされている方も多いとのことでした。午後は、日本三景で知られる松島での自由観光を行いました。

3日間という長い研修でしたが、被災地の現状を深く知ることが出来、また、福島県建築士会との今後に繋がる交流も出来、大変有意義な研修となりました。大きなトラブルもなく修了することが出来、参加者の皆様には心からお礼申し上げます。



旧亀岡家住宅（福島県伊達市）集合写真



JR福島駅前キャンドルナイト

青年委員会

「近畿青年建築士フォーラム2017」事業報告

当日のフォーラムの第1部において、滋賀からは「青年建築士交流会」について、村上副委員長より事業発表を行いました。交流会の内容や今後の展開について、多くの方々にご興味を持って頂きました。以前、青年委員会の事業で行っていた「木のパズル」は、京都府・奈良県で事業展開され、また、昨年度のサミットの参加により情報を得て、奈良県・和歌山県の青年委員会で開催されていた「おかしな家づくり」事業を今年度滋賀で開催するなど、この近建青事業の繋がりにより、各府県の青年同士での情報交換や交流が活発になってきております。

今後も、各府県の青年委員会等が、お互いに刺激し合い、「滋賀らしさ」を加えつつ、活発な活動をしていきたいと思っております。

青年委員会 委員長 野呂 辰治



第1部 各府県事業発表

近畿建築士会 協議会青年部

「近畿青年建築士フォーラム2017」事業報告

平成29年2月18日(土)、大阪府建築健保会館にて、近畿建築士会協議会青年部会主催「近畿青年建築士フォーラム2017」(担当:研修委員会)を開催いたしました。

「会員増強」と「次世代育成」について考えることを目的とした当フォーラムは、メインテーマ「キンキハヒツ!」、サブテーマ「知ろう、話そう、仲良くなろう」のもと、近畿2府4県の青年建築士が集い、互いの活動を知り、話し合い、交流ができる2部構成で実施しました。

第一部の活動事例報告会では、近畿各府県の代表者による発表に加えて、「会員増強」に向けた活動で成果を上げている、(一社)神奈川建築士会の奈良青年委員長にも発表していただき、近畿以外の地域の活動を知る機会にもなりました。

第二部では、非営利活動法人日本ファシリテーション協会の佐野岳章氏にご協力いただき、意見交換会を行いました。意見交換会では、他府県の会員同士の交流を深める目的で、知り合い、話し合い、そして最後には仲良くなるという流れで進めました。それぞれの活動や第一部の内容を踏まえた話題などで、ファシリテーターの合図と同時に参加者間で積極的な話し合いがされていました。その後の交流会でも積極的な交流がなされていたので、早速効果があったのだと思います。

今回、約120名の方々にご参加いただき、まことにありがとうございました。あらためまして御礼を申し上げます。本フォーラムの開催が、各府県の「会員増強」「次世代育成」に向けた活動躍進のきっかけとなれば幸いです。

近畿建築士会協議会青年部会 平成28年度研修委員会 委員長
東川 正樹 ((一社)奈良県建築士会 青年委員会委員)



集合写真

滋賀職能大（ポリテクカレッジ）からのお知らせ

平成29年度 能力開発セミナーの予定

平成29年度の能力開発セミナーのプログラムは本誌3月号に掲載予定です。

コースNo.	コース名	受講料	定員	実施日	講習時間帯
CH011	ネットワーク工程管理技術	¥7,000	10	7/12(水)、19(水)	10:00~17:00
CH031	木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密工法	¥7,000	10	7/25(火)、26(水)	10:00~17:00
CH021	実践建築一般図・詳細図作成技術(2次元CAD: AutoCAD編) New	¥7,000	10	8/2(水)、9(水)	10:00~17:00
CH041	木造住宅の省エネ設計技術	¥6,500	10	11/15(水)、22(水)	10:00~17:00

各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。

講座の内容については

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_h29.html

(電子パンフレット、建築・住宅関係コース、各講座の詳細へのリンクもあります)

ネットでの受講申し込みは

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_form_mousikomi.html

受講申込書のダウンロードは

<http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H29/entry2017.pdf>

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。

下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属
滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)

www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課 TEL: 0748-31-2254
FAX: 0748-31-2255

新入会員のご紹介

地 区	氏 名
湖 東	野 崎 徹 也
甲 賀	藤 原 舞 子

4月の暦

1 土 先勝		13 木 先勝		21 金 先負	理事会
2 日 友引		14 金 友引		22 土 仏滅	大津地区委員会総会
3 月 先負		15 土 先負		23 日 大安	湖東地区委員会総会
4 火 仏滅		16 日 仏滅		24 月 赤口	高島地区委員会総会
5 水 大安		17 月 大安		25 火 先勝	
6 木 赤口		18 火 赤口	まちづくり委員会 空き家管理等支援委員会	26 水 仏滅	
7 金 先勝		19 水 先勝		27 木 大安	湖南地区委員会総会
8 土 友引		20 木 友引	平成29年度 二級・木造 建築士試験 受験申込受付 (~4/24)	28 金 赤口	
9 日 先負				29 土 先勝	昭和の日
10 月 仏滅				30 日 友引	
11 火 大安	四役会 情報広報委員会				
12 水 赤口					

滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて
第10回

福井弥平商店（高島市勝野）

写真は、西近江路に面して重厚な板塀が庭を取り囲み、黒板基調の商家造りを見せる主屋である。敷地内で最も古い建物だといひ、杉玉が吊られた横の玄関を入ると、内部は店舗、事務所、蔵元住居がある。吹き抜けのある店舗、奥座敷、庭園など、例えようのない優美な空間は圧巻の素晴らしさである。近年その酒質も大きく向上し県内外でも高い評価を受けている。多種多様な原料米へ取り組み、新たな醸造及び上槽手法への挑戦、バラエティ豊富な味わいで、「より旨い」を目指した挑戦が飲み手の心を掴んで離さない。

代表銘柄：「萩乃露」

(前谷吉伸)

